

伊丹市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する  
条例の制定について

伊丹市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を  
別記のとおり制定する。

令和 7 年 1 2 月 2 日 提出

伊丹市長 中 田 慎 也

理 由

伊丹市災害弔慰金等支給審査委員会を設置するほか，所要の規定  
整備を行うため。

伊丹市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例（令和 7 年伊丹市条例第 号）

伊丹市災害弔慰金の支給等に関する条例（昭和 4 9 年伊丹市条例第 9 号）の一部を次のように改正する。

第 1 条中「および第 1 0 条第 1 項」を「，第 1 0 条第 1 項および第 1 8 条」に，「災害弔慰金および災害障害見舞金の支給ならびに災害援護資金の貸付け」を「災害弔慰金の支給等」に改める。

第 1 5 条第 3 項中「行なわなければ」を「行わなければ」に改める。

第 2 1 条を第 2 2 条とし，第 2 0 条の次に次の 1 条を加える。

（伊丹市災害弔慰金等支給審査委員会）

第 2 1 条 法第 1 8 条の規定により，市長の附属機関として，伊丹市災害弔慰金等支給審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は，市長の諮問に応じ，次に掲げる事項について調査審議し，答申する。

(1) 弔慰金および災害障害見舞金の支給に係る死亡または障害と災害との因果関係の判定に関すること。

(2) 前号の判定に係る基準の検討に関すること。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか，弔慰金および災害障害見舞金の支給に関し必要な事項

3 委員会は，委員 5 人以内で組織する。

4 委員は，次に掲げる者のうちから，市長が委嘱し，または任命する。

(1) 医師

(2) 弁護士

(3) 識見を有する者

5 委員の任期は，3 年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

6 委員は，再任されることができる。

7 委員は，職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

8 前各項に定めるもののほか，委員会の組織および運営に関し必要な事項は，規則で定める。

付 則

この条例は，公布の日から施行する。